



2016・6・21

第 242 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

参院選で戦争法廃止、改憲阻止の審判を

争点隠しはかる安倍政権追及

安倍首相は今年に入って、あいついで明文改憲についての強い意欲を表明しました。

年頭記者会見「憲法改正については参議院選挙でしっかり訴えていく」（1月4日）

NHK番組「与党だけで3分の2は非常に難しい。自民党、公明党以外にもおおさか維新の会など改憲に向けて前向きな政党もある。そういう未来に向かって責任の強い人たちと3分の2を構成していきたい」（1月10日）

施政方針演説「国の形を決める憲法改正。国民から付託を受けた私たち国会議員は、正々堂々と議論し、逃げることなくその答えを出していこうではありませんか」（1月22日）。

衆院予算委「憲法解釈について、7割の憲法学者が、自衛隊について憲法違反という疑いを持っている状況をなくすべきではないかという考え方もあり、また、これは占領下につくられた憲法で、時代にそぐわななかつたものもある、そして、私たちの手で憲法を書いていくべきだという考え方のもとに、私たちは私たちの草案を発表している」（2月4日）。

九条の会主催

全国交流討論集会（仮称）

開催のお知らせ

九条の会は、戦争法の発動と参議院選挙の結果を受け、今後の九条の会の在り方について交流し意見交換をするため、下記のように「交流・討論集会」を開催します。詳細は追ってお知らせします。

◇日時 9月25日（日）

午前11時～午後4時（予定）

◇内容 全体会・分散会

◇会場 東京千代田区 明治大学

ところが参院選が近づくにつれ明文改憲には口をつむぐようになり、自民党の選挙公約も、きわめて抽象的になりました。

【自民党参院選公約】…「衆議院・参議院の憲法審査会における議論を進め、各党との連携を図り、あわせて国民の合意形成に努め、憲法改正を目指します」

選挙戦は経済問題を前面に乗り切り、選挙が終わったら戦争法発動、明文改憲への動きを一気に強めようとの意図は明白です

「選挙に行って政治を変えよう」

【広島県／女性9条の会・ひろしま】 女

性9条の会・ひろしまは6月9日、広島市中区で宣伝行動を行いました。12人が参加して「戦争はいやです！ 選挙に行って政治を変えよう」と書いたビラを配り、戦争法廃止の2000万署名を集めました。

会員が「安倍改憲を許すのか、それとも戦争法を廃止するのか、参院選の大争点です」とリレートーク。原爆で女学校の多くの同級生が亡くなったという女性(86)＝広島市安佐北区＝は「戦争する法律は絶対に反対です」と言って署名しました。

戦争法廃止求め商店街をデモに

【香川県／9条の会かがわ等】 9条の会かがわと香川革新懇は6月6日、高松市で戦争法廃止を求めてデモ行進し、70人が参加しました。たなべ健一野党統一候補、民進党県連幹事長の山本悟史県議、共産党の松原昭夫県委員長、社民党県連代表の高田良徳県議がそろって訴えました。

たなべ氏は「安倍政治の暴走を許さないため頑張りぬく」と語り、山本氏は、16日には共産党の志位委員長など野党4党の代表がそろって街頭演説をおこなうことを紹介しました。

参加者は「市民と野党で政治を変えよう」と声を合わせて商店街をデモ行進しました。

参院選まで連続的に宣伝

【東京都国分寺市／国分寺九条の会】 6月5日(日)、発足したばかりの市民連合@国分寺は「明日を決めるのは私たち part 3」を開き、170人余が参加しました。この日行われた「明日を決めるのは私たち 政治を変えよう！6.5全国総がかり行動」に連帯し

中学生の9条との出会い

50年も前の小学校の授業、担任が「自衛隊は必要でしょうか？」と私たちに問う。彼は学徒勤労働員の工場で機銃掃射にあい、足の指が無いなど話してくれていた。

しかし、私たちはほぼ全員「必要」に手を挙げた。なぜなら長野県の山奥で昭和36年にひどい水害があり、みな自衛隊に助けられた経験があったから。この時の先生の悲しそうな顔と戸惑いは忘れられない。

戦車ではなくてブルドーザーを持ったレスキュー隊がいいという結論になった。これが私の9条との出会いだった。

そして、今でもこの結論は変わらない。そのまま中学校の社会科の教員をやってきた。(中略)

この十数年は、授業に「他の国が攻めてきたらどうするか？」との問いを入れた。生徒の意見をやや単純化すると、6項目にまとまる。

①攻撃は最大の防御だから他国を先に攻める ②攻めてきた国と国内で戦う ③外国に戦ってもらう ④逃げる⑤仲良くする、戦わないことを明言する ⑥国際協調、平和外交を進めておく

生徒の意見は②③も多いが意外と④が一番多いのにビックリする。(中略)

授業の中で生徒に教わること、考えさせられることが非常に多かった。

(「あつぎ・九条の会」ニュースの小林茂直さんの文章を要約しました)

た集まりで、阪田雅裕さん（元・内閣法制局長官）をお招きし「集団的自衛権と日本国憲法」のテーマでお話を聞いて学習会するとともに、差し迫った参院選での活動についての話し合いを行いました。

阪田さんのお話は内閣の内側の立場にあってもなぜ集団的自衛権の行使容認は違憲としたのかについての興味深いものでした。

後半の冒頭で、参院選で全国32の一人区すべてで野党共闘が成立し、市民と野党の統一候補が擁立されたこと、この共闘と世論の力が安倍政権に党略的なダブル選挙を許さなかったこと、我々が「押している」情勢であり参院選で自公と追随勢力を少数派に追い込もう、という訴えに大きな拍手が起こりました。

大量宣伝用に分かりやすいリーフを作ること、参院選公示前日まで連続的に駅頭宣伝を行うことも決まりました。（国分寺九条の会「輝け憲法九条」No.139）

障害者犠牲にする戦争許さない

【東京都／障害者・患者9条の会】 参院選挙は「憲法」が大争点一と車いすや盲導犬をつれた視覚障害者らでつくる東京の「障害者・患者9条の会」は19日、新宿区で宣伝し、「戦争法の廃止を求める」署名を訴えました。

15歳で頸椎（けいつい）を損傷し車いす生活となった会世話人の家平悟さん（44）は、戦時中は、障害者は「米くい虫」「非国民」とひどい目にあい、戦争は新たに障害者をつくり出すと強調。貧困、差別をなくし恒久平和を掲げる「かけがえのない憲法を変えさせることがあってはならないと訴

えました。

署名に応じた調布市の武田清孝さん（69）は「（アメリカを批判した）『戦争中毒』を読んでいるが、日本もアメリカの軍拡に追随している。異常だ。そのしわ寄せが障害者の人たちにきてしまう。基地への思いやり予算をやめるなど、税金の使い道を見直してほしい」と話します。

スタンディングに反響

【徳島県／九条の会徳島】 九条の会徳島は6月9日朝、徳島市で戦争法反対のスタンディング宣伝を行いました。

参加した13人が徳島駅前の国道交差点の4カ所に立ち、「憲法守ろう」「許さない！ 集団的自衛権行使容認」と書いた横断幕、プラカードを掲げると、信号待ちの市民らがじっと見つめていました。

宣伝は、閣議決定直後の2014年9月から毎月続けています。

通行人もいっしょコールに参加

【青森県／青森県九条の会等】 青森県九条の会と青森九条ネットが呼びかけている「アベ政治を許さない」スタンディングアピールが6月3日、青森市駅前公園で行われました。

アピール行動には、34人が参加。「アベ政治を許さない」ポスターや、参院選への参加を呼びかけるプラカードを掲げ、「戦争法廃止、みんなの力で安倍暴走政治を止めよう」と市民へアピールしました。

コールする参加者の姿を撮影する女子高校生や、一緒にコールする通行人の姿がみられました。